

市民意見聴取に係る施策の概要

案件名: 令和3年度施策評価結果及び令和4年度予算編成方針
 (副題) (令和4年度主要事業)
 局課名: 総合政策局 政策部 政策推進課

施策の目的	本市のまちづくりの総合指標である「市民参画指数」は前年度と比べ概ね横ばいとなっており、「ファミリー世帯の転出超過数」については、2年連続で目標から遠ざかる結果となった。また、新型コロナウイルス感染症の影響により市財政については、先行きの不透明感が高まる中、令和4年度は、総合計画及び「あまがさき『未来へつなぐ』プロジェクト」の最終年度であり、次期計画に向けた橋渡しとなる年度でもあることから、総合計画に掲げる「ありたいまち」の実現に向け、「後期まちづくり基本計画」における主要取組項目を推進するとともに、財政健全化に向けた取組の両立を図る。
現状・背景	<p>○今般のコロナ禍は、市民生活と地域経済に大きな影響を及ぼしており、切れ目のない支援と地域経済の回復に向けての取組、コロナ禍により顕在化・加速化した課題への対応が重要となっている。</p> <p>○令和3年2月版の収支見通しにおいて、令和4年度の収支不足は7億円になることが見込まれていたが、国勢調査人口の増に伴う実質的な地方交付税の増によって、当初見込んでいた収支不足は一定圧縮される見込みとなった。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症による外出抑制等が、人と人とのつながりを重視し進めてきた本市のまちづくりに大きな影響を与えているなか、誰一人として取り残さない包摂的な社会の実現に向けた取組の重要性が増している。</p> <p>○「本市のイメージが良くなった」と感じる人の割合は引き続き5割を超える高い水準を維持しており、本市のまちの課題解決と魅力増進の取組についても着実に継続していく必要がある。</p> <p>○中長期的な視点では、高齢化の進展などにより社会保障に係る経費は引き続き高い水準で推移するものと想定しており、また避けることのできない大規模な投資も必要となる。</p>
施策の策定にあたっての考え方	<p>○本市では、PDCAサイクルの考え方にに基づき、総合計画に掲げる「ありたいまち」の実現に向け、各年度の取組状況を振り返る「施策評価」(Check)を毎年度実施し、その結果を踏まえた予算編成方針(Action)に基づき、次年度に向けた予算編成(Plan)を行い、その後の事業実施(Do)につなげており、この度、令和3年度の施策評価結果がまとまった。</p> <p>○施策評価結果によるPDCAサイクルをより一層意識するとともに、「持続可能で弾力性のある行財政基盤の確立」に向けての財政目標を踏まえた、選択と集中を図る予算編成を行う。あわせて、コロナ禍で顕在化した課題や環境の変化にも対応していくためにも、令和4年度に向けては、次に掲げる項目に特に重点的に取り組んでいく。</p> <p>項目1 個々の課題に寄り添った支援 項目2 地域経済の回復と脱炭素社会の実現 項目3 まちのブランディングと魅力の発信 項目4 市民の利便性を高めるデジタル化の推進</p>
意見を聴取するポイント	本市の総合計画の進捗状況を、施策評価結果において、まちの通信簿としてわかりやすく市民の皆様にお示しすることで、市政運営に関心をもっていただくとともに、令和4年度に向けて特に重点的に取り組む項目をはじめ、次年度の予算編成について、意見を伺う。
市民意向調査(ステップ2)の実手法	令和3年9月1日(水)から10月29日(金)まで市ホームページにおいて意見を募集することとします。(上記期間に関わらず、多様な意見をお待ちしております。)
お問い合わせ先	総合政策局政策部政策推進課 〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号 本庁北館4F 電話番号(TEL)06-6489-6124 ファクス(FAX) 06-6489-6793 メールアドレス(Eメール)ama-gyosui@city.amagasaki.hyogo.jp